

第122期 報告書

AICA

2021年4月1日～2022年3月31日



CHEMICAL PRODUCTS

LAMINATES AND BUILDING MATERIALS

アイカ工業株式会社

証券コード：4206

株主の皆さまへ



代表取締役 会長

小野 勇治



代表取締役 社長執行役員

海老原 健治

持続可能な社会の実現に向けて、「挑戦と創造」の精神のもと、皆さまの期待に応えてまいります。

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社グループ第122期（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）の営業の概況をご報告申し上げます。

当連結会計年度の当社グループを取り巻く経営環境は、日本国内においては、ワクチン接種の普及もあり新型コロナウイルス・デルタ株による感染者数が減少に転じ、景気の後退から持ち直しの動きが見られました。また、アジア・オセアニア地域の経済につきましては、一部の国と地域で持ち直しの動きが見られました。しかしながら、オミクロン株の感染拡大、原材料価格の高騰、ウクライナ情勢の緊迫化などにより、国内外ともに先行きは不透明な状況で推移しております。

国内建設市場においては、住宅着工は、持家や貸家および一戸建ての着工が増加し、前年を上回りました。非住宅関連においても、事務所、店舗、工場、倉庫などの着工面積が増加し、コロナ禍前の水準まで回復しました。

このような経営環境の下、当社グループは、中期経営計画「Change & Grow 2400」の方針に基づき、非建設分野向け事業および海外事業の強化、社会課題の解決に貢献する商品群の拡充、利益基盤および経営基盤の強化などを推進いたしました。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高214,514百万円（前年同期比22.8%増）、営業利益20,348百万円（同13.1%増）、経常利益21,840百万円（同18.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益13,117百万円（同21.9%増）となりました。

なお、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を当連結会計年度の期首から適用しており、当連結会計年度の売上高は578百万円、営業利益は140百万円減少しておりますが、税金等調整前当期純利益に与える影響はありません。

配当につきましては、連結配当性向50%を目処としており、期末配当金は1株につき58円とし、中間配当金と合わせた年間配当金は、1株当たり108円といたしました。

今後の景気動向につきましては、国内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響から回復し、経済社会活動が正常化に向かう中で、景気が持ち直していくことが期待されます。ただし、ウクライナ情勢などによる不透明感がみられる中で、原材料価格やエネルギーコストの上昇および金融市場の変動などによる下振れリスクに留意する必要があります。

国内建設需要は、住宅着工は需要回復の勢いが一服し、前年同期比で微減と予測されます。非住宅建設市場は引き続き堅調に推移する見通しですが、原油高やサプライチェーンの混乱などの影響が懸念され、先行きは不透明な状況です。

アジア・オセアニア地域の経済は、感染抑制に伴う活動制限の緩和などにより持ち直しを維持し、日本国内市場と比較すると高い成長率が期待できますが、ウクライナ情勢や中国などにおける感染再拡大など、しばらくは不透明な状況が続くと予想されます。なお、利益面においては、原材料価格が上昇した場合や過度な為替変動が生じた場合には、利益を圧迫する懸念があります。当社グループは、このような経営環境の下、引き続き中期経営計画「Change & Grow 2400」の方針に基づき、非建設分野向け事業および海外事業の強化、社会課題の解決に貢献する商品群の拡充、利益基盤および経営基盤の強化などを推進してまいります。

当社グループは、経営の透明性をより高めることにより、皆さまからの信頼を得ながら、持続可能な社会の実現に寄与することで、企業価値の向上を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層ご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

2022年6月

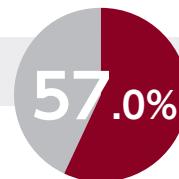
CONTENTS

株主の皆様へ…………… 1	財務情報（連結）…………… 5	財務情報（単独）…………… 7	企業活動のご案内…………… 8
セグメント別のご案内…………… 3	連結貸借対照表（要約）	貸借対照表（要約）	会社の概要…………… 12
	連結損益計算書（要約）	損益計算書（要約）	株式の状況…………… 13
	連結キャッシュ・フロー計算書（要約）		株主メモ…………… 14

セグメント別のご案内

化成品セグメント

売上高 **122,323** 百万円



[売上高構成比]

接着剤系商品は、国内においては、産業用フェノール樹脂などが好調で売上が前年を上回りました。海外においては、中国、タイ、インドネシア、ベトナムを中心に販売量が伸長し、第2四半期連結会計期間より連結業績に組み入れたアイカアドテック社も寄与し、売上を伸ばすことができました。

建設樹脂系商品は、橋梁・土木用の補修・補強材の売上が前年を下回りましたが、外装・内装仕上塗材「ジョリパット」と工場・倉庫向けの塗り床材が好調に推移し、売上を伸ばすことができました。

非建設分野への取り組みとして注力している機能材料事業につきましては、国内においては、電子機器関連用途のUV樹脂、工業用の有機微粒子などが好調で、売上を伸ばすことができました。海外においては、テキスタイル用途やスポーツシューズ用途のウレタン樹脂などが伸長し、第3四半期連結会計期間にエバモア・ケミカル・インダストリー社がコベストロレジン社から

譲り受けた大園工場も寄与し、売上を伸ばすことができました。

このような結果、売上高は122,323百万円（前年同期比35.2%増）、営業利益（配賦不能営業費用控除前）は7,376百万円（前年同期比3.8%増）となりました。



ジョリパット透過外断熱システム パッシブウォール
物件名：市立札幌開成中等教育学校

売上高



塗り床材 ファブリカ
物件名：東山フィルム株式会社 瑞浪工場研究開発棟
設計：名工建設株式会社



高機能フィルム ルミアート

建装建材セグメント

43.0%

[売上高構成比]

売上高 **92,191** 百万円

メラミン化粧板は、国内においては、店舗や事務所などの需要を獲得し、抗ウイルスメラミン化粧板「アイカウイルテクト」など特長のある商品が好調で、売上が前年を上回りました。また、海外においては、中国、インド、タイ、ベトナム、インドネシアを中心に売上を伸ばすことができました。ボード・フィルム類は、汎用的なポリエステル化粧合板や、粘着剤付化粧フィルム「オルティノ」などが好調で、売上が前年を上回りました。メラミン不燃化粧板「セラルール」は、住宅のキッチンパネル用途、店舗などの需要を獲得するとともに、抗ウイルスメラミン不燃化粧板「セラルールウイルテクト」の採用が拡大し、売上が前年を上回りました。不燃建材は、非住宅向けの不燃ボード「マーレス不燃」などが低調で、売上が前年を下回りました。カウンター・ポストフォーム商品は、キッチン・洗面カウンター需要を獲得した高級人造石「フィオレストーン」や住宅・公共施設用途のポストフォームカウンターが好調で、売上が前年を上回りました。建具・イン

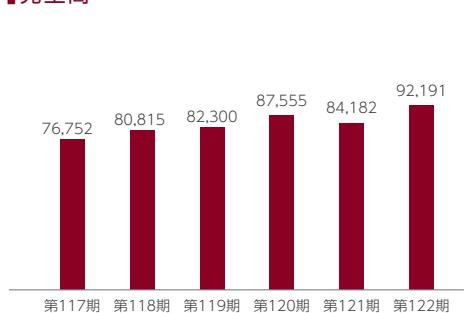
テリア建材は、住宅向け洗面化粧台「スマートサニタリー」が好調で売上を伸ばしましたが、不採算事業の見直しにより、売上が前年を下回りました。このような結果、売上高は92,191百万円（前年同期比9.5%増）、営業利益（配賦不能営業費用控除前）は16,379百万円（前年同期比19.1%増）となりました。



抗ウイルスメラミン不燃化粧板 セラルールウイルテクト
物件名：広島市立北部医療センター 安佐市民病院

売上高

(単位:百万円)



粘着剤付化粧フィルム オルティノ
物件名：島根県江津市役所



高級人造石 フィオレストーン
物件名：へきなん中央クリニック
設計：株式会社アートジャパンガヤ設計 名古屋事務所

財務情報 (連結)

■ 連結貸借対照表(要約)

(単位：百万円)

科目	第122期 2022年3月31日現在	第121期 (前期) 2021年3月31日現在
資産の部		
流動資産	151,706	126,468
固定資産	88,682	80,894
有形固定資産	57,090	50,750
無形固定資産	14,241	12,520
投資その他の資産	17,350	17,623
資産合計	240,388	207,363
負債の部		
流動負債	66,327	47,524
固定負債	11,326	9,333
負債合計	77,654	56,858
純資産の部		
株主資本	137,663	131,724
資本金	9,891	9,891
資本剰余金	13,294	13,280
利益剰余金	116,626	110,563
自己株式	△2,150	△2,011
その他の包括利益累計額	7,558	3,055
その他有価証券評価差額金	3,979	4,594
繰延ヘッジ損益	11	△0
為替換算調整勘定	3,353	△1,512
退職給付に係る調整累計額	214	△26
新株予約権	23	27
非支配株主持分	17,489	15,697
純資産合計	162,734	150,505
負債純資産合計	240,388	207,363

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 連結損益計算書(要約)

(単位：百万円)

科目	第122期 2021年4月1日から 2022年3月31日まで	第121期 (前期) 2020年4月1日から 2021年3月31日まで
売上高	214,514	174,628
売上原価	160,429	125,095
売上総利益	54,084	49,532
販売費及び一般管理費	33,736	31,541
営業利益	20,348	17,991
営業外収益	2,175	2,024
営業外費用	682	1,576
経常利益	21,840	18,438
特別損失	224	279
税金等調整前当期純利益	21,616	18,159
法人税、住民税及び事業税	6,906	6,467
法人税等調整額	319	△296
当期純利益	14,389	11,988
非支配株主に帰属する 当期純利益	1,271	1,228
親会社株主に帰属する 当期純利益	13,117	10,759

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位：百万円)

科 目	第122期 2021年4月1日から 2022年3月31日まで	第121期 (前期) 2020年4月1日から 2021年3月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	11,685	19,713
投資活動による キャッシュ・フロー	△8,342	△9,756
財務活動による キャッシュ・フロー	△1,114	△9,179
現金及び現金同等物に 係る換算差額	1,583	△236
現金及び現金同等物の 増減額	3,812	541
現金及び現金同等物の 期首残高	41,185	40,644
現金及び現金同等物の 期末残高	44,997	41,185

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

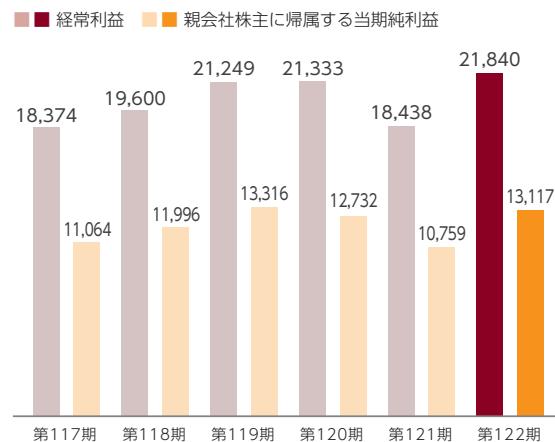
■ 売上高

(単位：百万円)



■ 経常利益と親会社株主に帰属する当期純利益

(単位：百万円)



■ 配当について(剰余金処分)

当期の期末配当金は、1株につき58円といたしました。中間配当金として1株につき50円をお支払いしておりますので、当期の年間配当金は1株当たり108円となります。

財務情報 (単独)

Financial Information

貸借対照表(要約)

(単位：百万円)

科 目	第122期 2022年3月31日現在	第121期 (前期) 2021年3月31日現在
資産の部		
流動資産	69,821	69,606
固定資産	90,038	79,141
有形固定資産	15,918	16,499
無形固定資産	4,159	4,004
投資その他の資産	69,960	58,637
資産合計	159,860	148,748
負債の部		
流動負債	33,341	26,445
固定負債	1,291	1,375
負債合計	34,633	27,821
純資産の部		
株主資本	121,218	116,310
資本金	9,891	9,891
資本剰余金	13,435	13,283
利益剰余金	100,041	95,146
自己株式	△2,150	△2,011
評価・換算差額等	3,984	4,588
その他有価証券評価差額金	3,973	4,589
繰延ヘッジ損益	11	△0
新株予約権	23	27
純資産合計	125,226	120,926
負債純資産合計	159,860	148,748

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書(要約)

(単位：百万円)

科 目	第122期 2021年4月1日から 2022年3月31日まで	第121期 (前期) 2020年4月1日から 2021年3月31日まで
売上高	108,258	98,636
売上原価	75,702	68,675
売上総利益	32,555	29,961
販売費及び一般管理費	18,668	17,862
営業利益	13,887	12,098
営業外収益	3,251	2,845
営業外費用	252	332
経常利益	16,886	14,611
税引前当期純利益	16,886	14,611
法人税、住民税及び事業税	4,776	4,360
法人税等調整額	161	△133
当期純利益	11,949	10,384

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

植物由来のフェノール樹脂を使用したメラミン化粧板を開発

当社の主力製品であるメラミン化粧板は、家具・什器・パーテーションの表面材として広く使用されている建築素材です。原材料の50%程度が紙であり、バイオマス（生物由来資源）を利活用する製品として、一般社団法人日本有機資源協会のバイオスマーク（バイオマス度50%）を2013年に取得しています。耐久性が高く家具・什器等の長寿命化にも寄与しており、環境負荷が低い製品です。

環境対応の重要度がますます高まる中、当社は、メラミン化粧板をより地球環境にやさしい製品へと進化させるべく、樹脂原料の一部に植物由来のフェノール樹脂であるリグニンフェノール樹脂を使用する技術を確立しました。これによりバイオマス度は60%となり※、石化原料を従来のメラミン化粧板より20%削減しています。

今後も当社は、メラミン化粧板国内シェアNo.1メーカーとしての責務を果たすべく引き続き開発を進め、100%バイオマス化したメラミン化粧板の実現を目指してまいります。また、サステナブル素材を使用した製品やGHG排出量削減に寄与する製品を開発し、SDGs（持続可能な開発目標）の達成とサステナブルな社会の実現に貢献してまいります。



リグニンの粉末



リグニンを使用したメラミン化粧板

※ 現在、一般社団法人日本有機資源協会のバイオスマーク（バイオマス度60%）の取得申請をしております。

企業活動のご案内

環境認証「グリーンガード ゴールド」をメラミン化粧板とメラミン不燃化粧板「セラール」で取得

SDGs（持続可能な開発目標）が社会に浸透し、様々な場面で取り組みが進められる中、建築業界においても、ライフサイクル全体を通じて地球環境や人にやさしい建物を建設・運用する「グリーン・ビルディング」に対する取り組みが推進されています。また、建材から放出されるVOC（揮発性有機化合物）などの化学物質が、シックハウス症候群の原因となることは広く知られており、人々が多くの時間を過ごす空間にそれらの物質を放出させないことがかねてより求められてきました。当社も、施工・加工する人からその空間で過ごす人まで、関係するすべての人の健康に配慮した建材製品の開発に、長年取り組んでいます。

この度、当社のメラミン化粧板およびメラミン不燃化粧板「セラール」が、世界的な第三者安全科学機関であるULの環境基準「GREENGUARD Gold(グリーンガード ゴールド)」を取得しました。なお、グリーンガード ゴールド認証を取得した建材製品は、世界で最も広く利用されているグリーン・ビルディングの認証プログラムである「LEED（リード）」※において、室内環境品質に対する項目（低放散材料）の評価（加点）対象となります。

当社は今後も、健康で快適な暮らしの実現と地球環境の改善に寄与する建材を開発し、SDGsの達成とサステナブルな社会の実現に貢献してまいります。



メラミン化粧板の施工例（オフィスビルのトイレ）



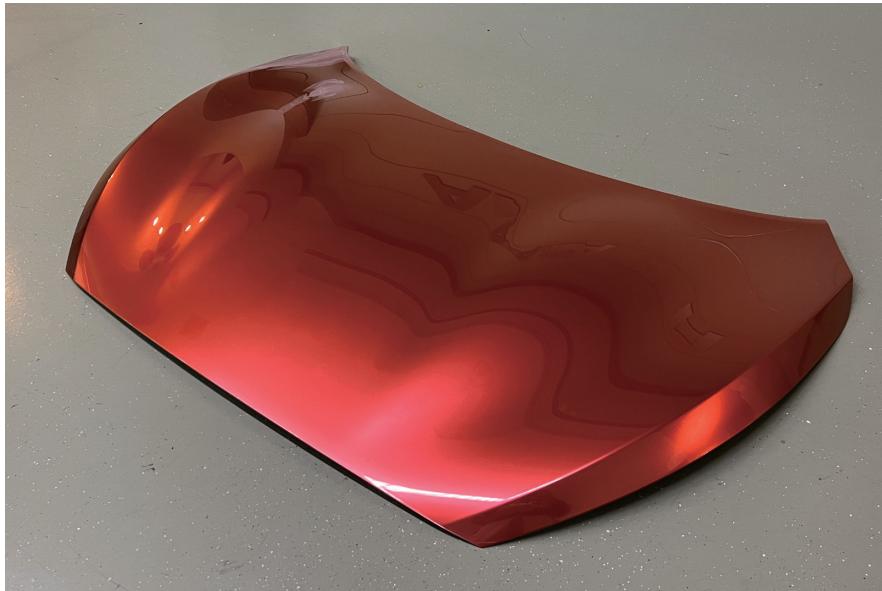
GREENGUARD Gold認証マーク

※ Leadership in Energy & Environmental Designの略。アメリカのNGOであるU.S.Green Building Councilが開発・運用しているビルド・エンバイロメント（建築や都市の環境）の環境性能評価システム。

自動車外装用3次元加飾ハードコートフィルムを開発

2050年までに温室効果ガス排出量ネットゼロを目指す動きが各国で本格化する中、自動車製造で排出されるCO₂の約30%が、塗装と乾燥を繰り返す塗装工程に起因すると言われており、塗装に代わる素材として加飾フィルムへの注目が高まっています。当社は2018年から自動車内装用3次元加飾フィルムを販売しておりますが、このたびボンネット等の自動車外装用3次元加飾ハードコートフィルムを開発いたしました。自動車の内装に比べて外装は面積が大きく、塗装から加飾フィルムに切り替えることで、さらなるCO₂排出量削減が期待できます。また、スプレー塗装の課題である揮発性有機化合物の放散がなく地球環境および作業者の健康にも配慮したグルマづくりが可能です。加えて、当社は、植物由来のバイオマス原料を一部使用したハードコート製品の開発にも成功しており、その技術を自動車外装用3次元加飾ハードコートフィルムにも応用していきます。

当社は今後も、サステナブル素材を使用した製品や温室効果ガスの削減に寄与する製品を開発し、サステナブルな社会の実現に貢献してまいります。



ボンネット（実物）への3次元加飾ハードコートフィルム成形品

会社の概要 (2022年6月24日現在)

Company Information

プロフィール

社名	アイカ工業株式会社
本社	名古屋市中村区名駅一丁目1番1号J Pタワー名古屋26階 電話 052(533)3131(代表)
本店所在地	愛知県清須市西堀江 2288 番地
設立	昭和 11 年 10 月 20 日
資本金	98 億 9,170 万円
事業所	
生産拠点	名古屋工場 (愛知県) 甚目寺工場 (愛知県) 福島工場 (福島県) 伊勢崎工場 (群馬県) 茨城工場 (茨城県) 丹波工場 (兵庫県) 広島工場 (広島県)
開発拠点	名古屋 R & D センター (愛知県) 甚目寺 R & D センター (愛知県) 福島 R & D センター (福島県) 伊勢崎 R & D センター (群馬県) 茨城 R & D センター (茨城県) 丹波 R & D センター (兵庫県)
営業拠点	札幌支店 仙台支店 盛岡営業所 東京支社 埼玉支店 横浜支店 千葉支店 北関東支店 松本営業所 宇都宮営業所 新潟営業所 名古屋支店 静岡支店 北陸支店 大阪支店 神戸支店 京都営業所 広島支店 四国支店 福岡支店 鹿児島支店

重要な子会社

会社名	アイカインテリア工業株式会社 (愛知県)
	アイカハリマ工業株式会社 (兵庫県)
	西東京ケミックス株式会社 (東京都)
	アイカテック建材株式会社 (東京都)
	アイカ・アジア・パシフィック・ホールディング社 (シンガポール)
	エパモア・ケミカル・インダストリー社 (台湾)
	アイカ・アジア・ラミネーツ・ホールディング社 (タイ)
	アイカ・ラミネーツ・インド社 (インド)
	アイカ・ラミネーツ・ベトナム社 (ベトナム)
	ウィルソナート・タイ社 (タイ)
	ウィルソナート上海社 (中国)

主要製品

化成製品セグメント 外装・内装仕上塗材、塗り床材、各種接着剤、有機微粒子、他

建築建材セグメント メラミン化粧板、化粧合板、室内用ドア、インテリア建材、カウンター、収納扉、不燃化粧材、押出成形セメント板、他

取締役および執行役員

代表取締役会長	小野 勇 治
代表取締役社長執行役員	海老原 健 治
取締役専務執行役員	百々 聡
取締役常務執行役員	大村 信 幸
○取締役 役	小倉 健 二
○取締役 役	清水 綾 子
取締役監査等委員	森 良 二
○取締役監査等委員	宮本 正 司
○取締役監査等委員	山本 光 子
常務執行役員	小瀬村 久
常務執行役員	堀田 益 之
上席執行役員	木場 健 夫
上席執行役員	岩塚 祐 二
上席執行役員	Chew Teck Liong
上席執行役員	石井 寛 之
上席執行役員	市川 豊 明
執行役員	Lee Kin Seng
執行役員	倉本 寛 直
執行役員	酒井 信 禎
執行役員	乾 功 一 郎
執行役員	石井 直 美
執行役員	何 文 杰
執行役員	森 島 英 謙

(注) ○印は社外取締役であります。

株式の状況 (2022年3月31日現在)

Stock Information

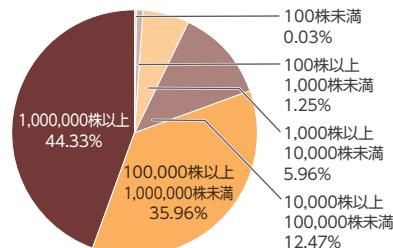
- 1.株式の総数 発行可能株式総数 116,577,000株
発行済株式の総数 67,590,664株
- 2.株主数 6,412名
- 3.大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	11,689	17.89
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	3,944	6.04
アイカ工業取引先持株会	2,302	3.52
THE BANK OF NEW YORK MELLON (INTERNATIONAL) LIMITED 131800	1,797	2.75
アイカ工業株式保有会	1,580	2.42
住友生命保険相互会社	1,318	2.02
株式会社三菱UFJ銀行	1,300	1.99
大日本印刷株式会社	1,293	1.98
株式会社日本カストディ銀行(信託口4)	1,262	1.93
デンカ株式会社	1,229	1.88

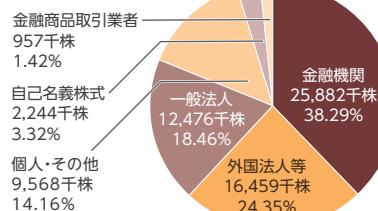
(注) 1.当社は、自己株式2,244千株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。
2.持株比率は、自己株式2,244千株を控除して計算しております。

4.株式分布状況

[所有株数別]

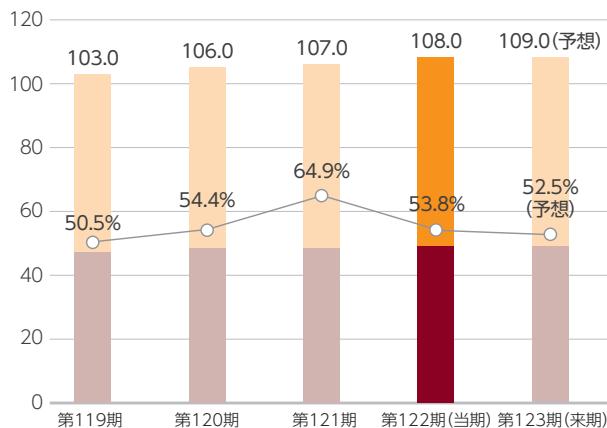


[所有者別]

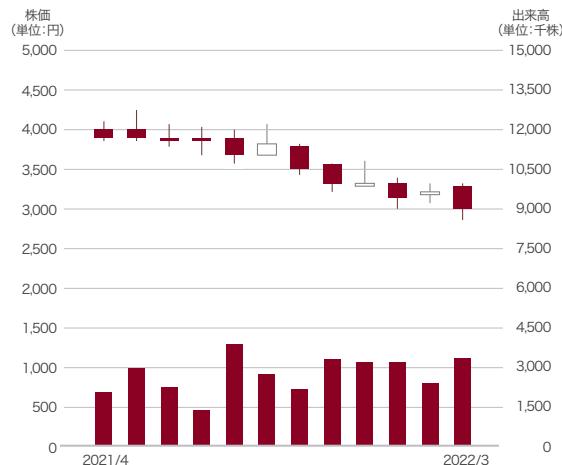


配当金の推移

(単位:円) ■ 中間配当 ■ 期末配当 ○ 連結配当性向



株価・売買出来高の推移 (東京証券取引所)



事業年度 4月1日～翌年3月31日
基準日 定時株主総会 3月31日
 期末配当 3月31日
 中間配当 9月30日
定時株主総会 毎年6月
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料)
〈郵送先〉 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

上場証券取引所 東京証券取引所プライム市場
 名古屋証券取引所プレミアム市場

公告の方法 電子公告により行います。公告掲載URL <https://www.aica.co.jp/>
 (ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。)

〈ご注意〉

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に口座をお持ちの株主様の各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式に関するお手続きについて

●特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
<ul style="list-style-type: none"> 特別口座から一般口座への振替請求 単元未満株式の買取（買増）請求 住所・氏名等のご変更 特別口座の残高照会 配当金の受領方法の指定（※） 	特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 〈郵送先〉 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
<ul style="list-style-type: none"> 郵送物等の発送と返戻に関するご照会 支払期間経過後の配当金に関するご照会 株式事務に関する一般的なお問合せ 	株主名簿管理人	手続き書類のご請求方法 <ul style="list-style-type: none"> ●証券代行部テレホンセンター 電話 0120-232-711 ●インターネットによるダウンロード https://www.tr.mufj.jp/daikou/

※特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

●証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
<ul style="list-style-type: none"> 郵送物等の発送と返戻に関するご照会 支払期間経過後の配当金に関するご照会 株式事務に関する一般的なお問合せ 	株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 〈郵送先〉 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。	

AICA

化学とデザインで面白いこと

